

## 近隣ケアグループ研修会を行いました。(稲羽地区の全域を対象に数回行いました)

それぞれの町でいろんな活動をされている近隣ケアグループのみなさんに、少しでも活動のお手伝いできれば、との思いから、市高齢福祉課からの業務委託を受託し、地域包括支援センターが研修会(というのも本当はおこがましいのですが)を開催しています。今年度は民生委員さんにも参加していただき、高齢者の見守りなどについてのアドバイスをいただきました。まずは『近隣ケアグループ活動の標準手順(各務原市高齢福祉課作成)』と『各務原市近隣ケアグループ設置運営要綱』などの市の資料をもとにお話させていただきました。その後はいくつかのテーマでグループワークを行いました。近隣ケアグループと民生委員さんとの連携について話し合ったり、おとなりの町ではどんな活動をしているかなど、お互いに情報交換もされていました。稲羽地区のみなさんは、民生委員さんとも協力しながら、それぞれの町の状況に合わせて、自然な形で見守りの輪を作っておられる、と感じました。本当にありがとうございます。



### “地域住民自身による高齢者の見守り”

というと、全国的にみて、先進的な取り組みの一つとしていつも話題にのぼる方法があります。「今日も元気です」のサインとして高齢者自身が黄色い旗を玄関先に掲げ、旗がなければ近隣住民が訪問する、というあの方法です。

この方法について『ちょこっとディベート 高齢者見守りで玄関先に旗!?

賛成派 vs 反対派』と題して意見を交わ

しました。ただし、個人的な考えは封印し、司会をした地域包括支援センターがグループ分けして役割を決めた上で意見を交わしました。①賛成派の高齢者

②賛成派の近所の人③反対派の高齢者

④反対派の近所の人 の4グループで



です。自分自身の個人的意見ではないという前提があるので比較的気楽に発言でき、賛成派・反対派どちらも、実際に旗を立てたりしなくても、普段の何気ない見守りや、いろいろな近隣ケアグループの活動に参考になるような意見が多く出されました。

「もっとあーしろ、こーしろ。アレも載せろ」等、ご意見お待ちしております。

電話 058-371-2226 FAX058-371-8431 (担当 長谷川・西脇・林)

